

平成30年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

日本語

(100点満点)

問題1と問題2のすべてに解答しなさい。

問題1 別紙「問題1の問題文」を読んで、次のすべての問に解答しなさい。

問1 傍線①「ヴェーバーのいう『比較』という語の意味」とは、どういうことか。
60字以内で説明しなさい。

問2 傍線②「それ」とは、何を指しているか説明しなさい。

問3 傍線③「法則論的知識をもって現象を整理する」とは、どういうことか。
60字以内で説明しなさい。

問4 傍線④について、歴史的個体が成り立っている現象の具体例を挙げながら説明しなさい。

問題2 別紙「問題2の問題文」を読んで、次のすべての問に解答しなさい。

問1 傍線部、なぜアインシュタインは運にも恵まれていたと言えるのかを簡潔に説明しなさい。

問2 著者は事実の誤りと解釈の誤りのどちらがより問題であると主張しているか。また、その理由について200字以内で述べなさい。

問題1の問題文

大塚久雄『社会科学における人間』(岩波新書、一九七七)より。一部改変

問題2の問題文

酒井邦豪『科学者といふ仕事』（中公文庫、二〇〇六）より。